



f800x

車のビデオカメラ  
ユーザーマニュアル

# 目次

このガイドについて.....	4
FCC Statement .....	4
コロケーションの禁止.....	4
重要な注意 .....	5
WEEE の通達.....	5
CE Regulatory Notice .....	5
バッテリー警告 .....	6
設置における注意 .....	6
注意.....	7
<b>1 はじめに .....</b>	<b>10</b>
1.1 特徴 .....	10
1.2 パッケージの内容.....	10
1.3 製品の概要 .....	11
<b>2 入門編 .....</b>	<b>12</b>
2.1 メモリカードの挿入.....	12
2.2 車内への設置 .....	13
2.2.1 フロントガラスへの取り付け .....	13
2.2.2 機器の位置調整.....	14
2.3 電源への接続 .....	15
2.4 LED インジケーター .....	16

2.5	機器の電源オン/オフ .....	17
2.5.1	自動電源オン/オフ .....	17
2.5.2	手動電源オン/オフとリセット.....	17
2.5.2.1	手動電源オン.....	17
2.5.2.2	電源オフ.....	17
2.5.2.3	本機のリセット.....	17
2.6	初期設定 .....	18
2.6.1	自動録画の設定.....	18
2.6.2	日付/時刻の設定 .....	19
2.6.3	UTC (Universal Time Code/ユニバーサルタイムコード) の設定.....	20
2.7	アプリケーション.....	21
2.7.1	アプリケーションのインストール .....	21
2.7.2	Wi-Fi の接続 .....	21
<b>3</b>	<b>ドライブレコーダーの使用 .....</b>	<b>23</b>
3.1	ビデオ録画 .....	23
3.1.1	運転中のビデオ録画 .....	23
3.1.2	緊急録画.....	23
3.1.3	録画面面.....	24
3.1.4	速度点追加.....	26
3.1.5	スナップショットの撮影 .....	26
3.1.6	LCD 画面の 4 グリッド機能チャート .....	27
3.2	運転の安全 .....	28

3.2.1	車線逸脱警告.....	28
3.2.2	フロント衝突警告.....	30
3.2.3	前方車両発進警告.....	32
3.2.4	ヘッドライト警告.....	34
3.2.5	速度カムアラート.....	35
3.2.6	制限速度アラート.....	36
3.2.7	運転者疲労警報.....	38
3.2.8	動体検知.....	39
3.2.9	衝突検出.....	40
3.2.10	加速/減速警報.....	41
3.3	ビデオの再生と画像の表示.....	43
3.3.1	ビデオと緊急録画の再生.....	43
3.3.2	画像の表示.....	44
3.3.3	再生画面.....	45
3.3.4	ファイルの削除.....	47
<b>4</b>	<b>設定の調整.....</b>	<b>48</b>
4.1	メニューの使用.....	48
4.2	メニュー項目.....	49
<b>5</b>	<b>ソフトウェアのインストール.....</b>	<b>56</b>
<b>6</b>	<b>スーパーカー.....</b>	<b>57</b>
<b>7</b>	<b>仕様.....</b>	<b>58</b>

## このガイドについて

本書の内容は情報の記載を目的としており、予告なく変更することがあります。当社ではこのユーザーガイドの正確性と完全性には万全を期していますが、情報の内容に一切誤りや欠落がないという保証はありません。メーカーは技術仕様を予告なく変更する権利を保有しています。

## FCC Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC Caution: Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

Contains FCC ID: 2ACFIWM7911B

## コロケーションの禁止

本機とアンテナは他のアンテナや送信機と同じ場所に配置したり操作してはいけません。

## 重要な注意

放射線被爆ステートメント: 本機は制御不能な環境に対して宣言された FCC 放射線被爆制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF 被爆適合性を満たすために特定の操作指示に従う必要があります。本機は、ラジエーターを人体から少なくとも 20cm 離れた状態で設置し、操作します。FCC 被爆適合性要件への順守を維持するために、本書に示された操作指示に従ってください。

## WEEE の通達

### EU の個人の家庭におけるユーザーによる電気および電子機器またはバッテリー廃棄物の廃棄



WEEE



Battery

製品または梱包物にあるこのマークは、家庭ごみとして廃棄できないことを示しています。電気および電子機器またはバッテリーのリサイクルのため、装置またはバッテリーのごみは該当する引き取り組織に引き渡すことで廃棄する必要があります。本機またはバッテリーのリサイクルの詳細情報については、市区町村役場、本機を購入した販売店、またはお近くの家庭ごみ廃棄サービスにお問い合わせください。材料のリサイクルは、天然資源の保護を助け、人間の健康および環境を守る方法で確実にリサイクルされます。

## CE Regulatory Notice

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 2006/95/EC, the EMC Directive 2004/108/EC, the R&TTE Directive 1999/5/EC and the RoHS Directive 2011/65/EC.

EU Health Protection: This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body.

This product will meet the Basic Restriction limits of 1999/519/EC.

## バッテリー警告

- ❖ 常に付属のシステムを使用して充電してください。バッテリーを不適切に取り扱くと、爆発を招くおそれがあります。
- ❖ バッテリーを分解したり、穴を開けたりしないでください。またはバッテリーをショートさせないでください。
- ❖ バッテリーはお子様の手が届かないところに保管してください。
- ❖ 直火にさらされると、バッテリーは爆発することがあります。バッテリーは絶対に火気に投げないでください。
- ❖ 使用済みバッテリーの廃棄は、地方条例を順守してください。
- ❖ **バッテリーを自分で交換することは絶対にしないでください。交換の際は、販売店にご依頼ください。**

## 設置における注意

1. 最高に拡がった風景を録画できるようにするため、本機はバックミラーの近くに設置してください。
2. レンズが必ず前面ガラス ワイパーのワイプ範囲内にあるようにして、雨の場合もクリアな表示ができるようにしてください。
3. レンズに指で触れないでください。指の脂がレンズに残り、不明瞭なビデオ画像やスナップショット画像の原因となります。レンズは定期的にお手入れしてください。
4. 本機を色付き窓に設置しないでください。そうすることにより、色付きフィルムが損傷する恐れがあります。
5. 設置場所は必ず色付き窓に妨げられない場所にしてください。

## 注意

- ❖ 地域の法律と車両安全考慮事項に基づき、運転中は装置を操作しないでください。
- ❖ 本機器のファームウェア機能は参照目的で紹介されています。道路の実際の状態に従ってください。
- ❖ GPS 位置測定の結果は参照としてのみ利用し、この結果に基づいて実際に運転するべきではありません。このシステムはまた、位置測定の精度を保証しません。
- ❖ GPS 位置測定の精度は天候や高層建築、トンネル、地下、森林などの場所によって変わる場合があります。GPS の衛星信号は（ガラス以外の）固体を通り抜けることができません。色付きの窓も GPS 衛星信号の受信に影響を与えます。
- ❖ GPS の受信性能は装置によって変わる場合があります。このシステムでは、複数の装置から精確な位置測定結果を割り出すことはできません。
- ❖ 本システムに表示される速度、方位、スピード測定器設置ポイントとの距離警告などの数値は、外的要因により誤差が生じる場合があります、あくまで参考としてご利用ください。
- ❖ このシステムは、適用される法律で許される最大限度内で、非営利目的でのみ使用されます。弊社は操作中に発生したいかなるデータの損失に対しても責任を負いません。
- ❖ Wi-Fi 信号は建物を通過できません。信号伝送の上限は10mです。
- ❖ Wi-Fi 操作チャンネルリスト：Ch1～Ch11。

- ❖ 製品はワイヤレスデータ通信を採用しているため、近くの機器に電波障害を起こしたり、近くの機器により電波障害を受けることがあります。
- ❖ 本機を電子オープンの近くまたは電波障害のある場所で使用しないでください。
- ❖ 特定環境では、電波受信が悪化することがあります。
- ❖ 別の機器も本製品と同じ2.4GHz帯域を使用している場合、両方の機器の処理速度が遅くなることがあります。
- ❖ 本製品は使用中暖かくなりますが、これは異常ではありません。
- ❖ 製品の不適切な使用または操作は、製品または付属品の損傷の原因となり、保証が無効となります。
- ❖ このRF電子機器で生成された無線周波数(RF)は他の電子機器の操作に悪影響をもたらす原因となり、故障を引き起こすことがあります。ワイヤレス通信と回路も他の電子機器に障害をもたらすことがあります。それ故、次の注意事項に従ってください。
  - 航空機：機内では、無線送信機を使用しないでください。機器のWi-Fi機能をオフにしてください。
  - 車両：本機で送信される無線周波数は、車両の電子システムに影響を及ぼすことがあります。影響の可能性については、車両のメーカーまたは販売店にお問い合わせください。
  - ペースメーカー：ペースメーカーに対する干渉の可能性を防ぐために、ペースメーカーを使用する人には、本機

を使用しているとき、機器とペースメーカーの間に15cm (6インチ)以上の距離を置き、胸ポケットに本機を入れないように通知する必要があります。無線障害の疑いがある場合は、直ちに本機のスイッチをオフにしてください。

- 医療機器：個人用医療器を使用している場合、機器メーカーまたは医師に問い合わせしてお使いの機器が本機の無線通信から十分にシールドされているか確認してください。
- 医療施設：病院と医療研究所は、外部RFエネルギーに敏感な施設を使用することがあります。医療職員や掲示で無線周波数に障害を与える可能性のある機器のスイッチをオフにするように求められたら、その指示に従ってください。
- 爆発地点または掲示のある場所：爆発の障害を防ぐために、爆発地点または「両方向ポケットラジオのスイッチをオフにすること」の標識のある区域ではすべての標識または指示に従い、無線周波数に障害を与える可能性のある機器のスイッチをオフにしてください。

**本システムの利用を開始することで、あなたが上記のステートメントに同意するものと見なされます。**

# 1 はじめに

最先端技術が搭載されたドライブレコーダーをお買い上げ頂きありがとうございます。本機器は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように特別設計が施されています。

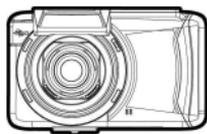
## 1.1 特徴

- フル HD 録画ビデオ (1920x1080@30fps または 1280x720@30/60fps)
- 2.7 インチ LCD カラータッチスクリーン
- 広角レンズ
- 多機能交通安全リマインダー
- 衝突検出時の自動緊急録画
- SDHC レベル 6 以上対応します。最高 32GB まで対応します

## 1.2 パッケージの内容

パッケージは次の項目を含んでいます。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。

ドライブレコーダー



ブラケット



CD-ROM



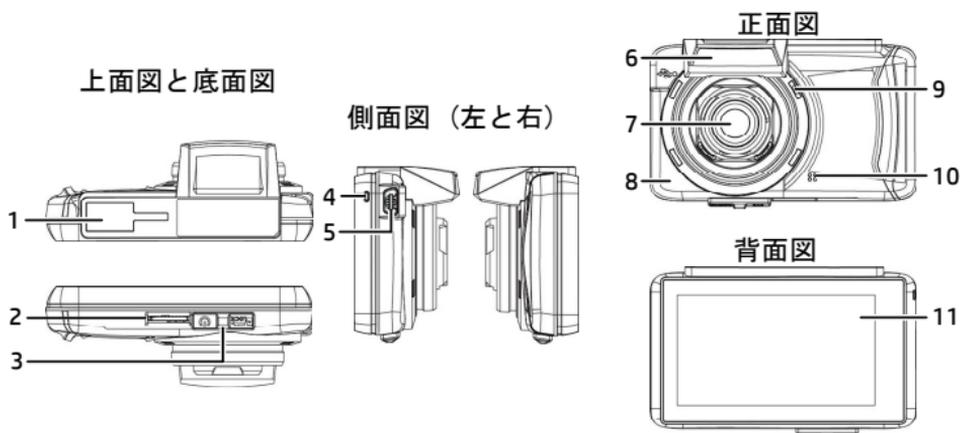
クイックスタートガイド



カーアダプター



## 1.3 製品の概要



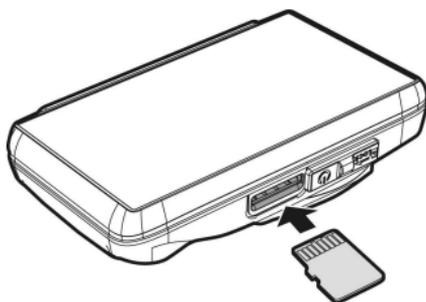
番号	項目
1	ブラケットソケット
2	メモ리카ードスロット
3	電源スイッチ
4	LED インジケーター
5	USB/ 電源コネクター
6	GPS アンテナ

番号	項目
7	広角レンズ
8	Wi-Fi 送信
9	スピーカー
10	マイクروفオン
11	LCD タッチパネル

## 2 入門編

### 2.1 メモリカードの挿入

図のように、メモリカードのピンを上に向け、本機の画面を上に向けた状態でカードを挿入します。カチッという音が聞こえたら、カードが定位置に収まったことを意味します。



#### メモリカードの取り出し

メモリカードを押すと、カードがスロットから外れて出てきます。

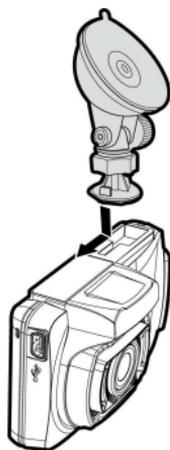
#### 注意:

1. 本機の電源がオンになっているときは、メモリカードを取り出したり、挿入したりしないでください。メモリカードが損傷することがあります。
2. Class 6 以上の定格の Micro SD カード (最大 32GB) を使用してください。
3. 初めて使用するときは Micro SD カードをフォーマットしてください。
4. メモリカードを取り外すとき、カードが飛び出て紛失する可能性があるので注意してください。カードを簡単に取り外せるように、メモリスロットにはバネが入っています。

## 2.2 車内への設置

### 2.2.1 フロントガラスへの取り付け

1. ブラケットを本機上部のブラケットスロットに取り付けます。カチッという音が聞こえるまで押します。

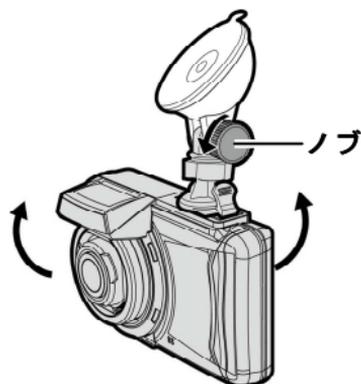


2. 吸着カップをフロントガラスに平行に押し付けます。
3. 土台をフロントガラスにしっかり当て、クランプを押し下げてカーホルダーをフロントガラスに取り付けます。土台が所定の位置で固定されていることを確認します。

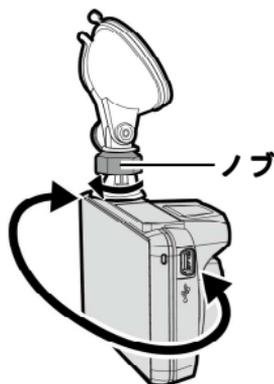


## 2.2.2 機器の位置調整

1. ノブを緩め、本機を垂直方向に回転させます。



2. ノブを緩め、本機を最大 360° 水平方向に回転させます。

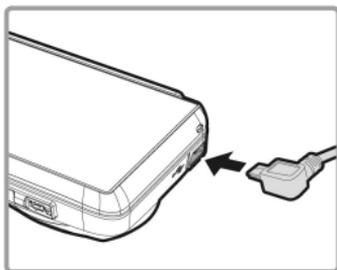


3. ノブを締め、本機が安全に所定の位置で固定されていることを確認します。

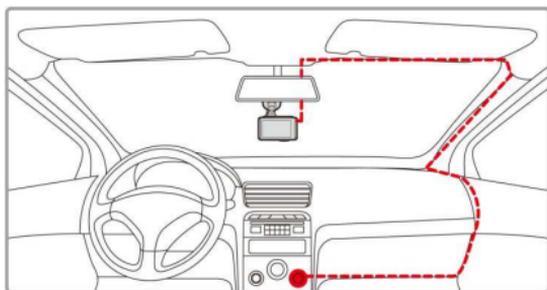
## 2.3 電源への接続

付属の自動車用アダプターのみを使用して、機器をパワーアップし、内蔵バッテリーを充電します。

1. 電源コネクターの一方の端を本機の USB/電力コネクターポートに接続します。



2. カーチャージャーの他方を車両のシガレットライターソケットに差込みます。自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。



### 注意:

1. 本製品はバックミラーの近くに、フロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。
2. 本製品には、**車線逸脱警告** (3.2.1)、**フロント衝突警告** (3.2.2) および **前方車両発進警告** (3.2.3) などの機能が含まれます。精度向上のため、それらの取付時に個々のセクションで与えられる位置合わせ対策を参照してください。
3. 運転用の外部電源に製品を接続してください。そうしないと、LCD タッチスクリーンが正常に動作しない場合があります。

## バッテリーステータスインジケータ:

アイコン	説明
	バッテリーは完全に充電されている状態です。
	バッテリーは 2/3 が残っています。
	バッテリーは 1/3 が残っています。
	バッテリーの残量がありません。
	バッテリーは充電中です。
	カーアダプターを接続し、バッテリーを充電してください。バッテリーは完全に充電されています。

### 注意:

周囲温度が45°C以上になってもカーアダプターは電源を供給できますが、リチウムイオンバッテリーは充電できなくなります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、欠陥品ではありません。

## 2.4 LED インジケータ

ステータス説明	LED インジケータの色
電源オフ、バッテリー充電中	赤
電源オフ、バッテリー完全充電状態	LED ライトオフ
電源オン、バッテリー充電中	赤
電源オン、バッテリー完全充電状態	緑
待機 / 待機で画面オフ	緑
録画中 / 録画中で画面オフ	赤で点滅

## 2.5 機器の電源オン/オフ

### 2.5.1 自動電源オン/オフ

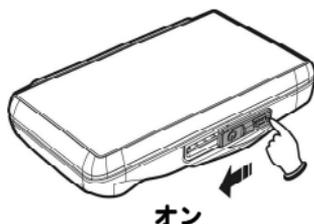
自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。自動録画機能を有効にした場合、本機に電源を入れた直後に自動的に録画を開始します。

*自動録画の設定* (2.6.1) をご覧ください。

### 2.5.2 手動電源オン/オフとリセット

#### 2.5.2.1 手動電源オン

電源スイッチを押し、電源スイッチがメモ리카ードスロットの上で固定されていることを確認します。



#### 2.5.2.2 電源オフ

電源スイッチを押し、メモリスロットが開放され、本機の電源オフシーケンスが始まったことを確認します。電源オフシーケンスに入っているときは本機の電源を入れないでください。録画ファイルが壊れることがあります。



#### 2.5.2.3 本機のリセット

不明な原因により本機が通常どおりに機能しなくなった場合、電源スイッチを押し、メモ리카ードが取り外し可能な状態であることを確認します。7秒待ち、もう一度電源スイッチを押し、本機を再起動します。

## 2.6 初期設定

本機を使用する前に、自動録画機能を有効にし、正確な日付と時刻を設定することをお勧めします。

### 2.6.1 自動録画の設定

自動録画の初期設定が有効になっています。電源を入れると、本機は自動的に録画を開始します。自動録画が無効になっている場合、次の手順で有効にします。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。

2.  に触れて、録画メインメニューに切り替えます。

3.  /  に触れ、 を選択し

て自動録画機能メニューに入ります。 に再度触れて、オンを選択します。



4.  に触れて、録画面面に戻ります。

## 2.6.2 日付/時刻の設定

正しい日付と時刻を設定するには、以下の手順に従ってください。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。



2.  を選択し、日付/時刻メニューに入ります。  /  に触れて、値を選択します。



 /  に触れ、前または次の項目を選択します。

 に触れて確定し、設定を完了します。

### 注意:

1. **時間同期**がオンの場合、本機の時計は、**時間帯設定**に基づき、衛星の時計信号により調整されます。**衛星同期化** (4.2) をご覧ください。
2. 衛星が車両の位置を特定できない場合、本機の時計はユーザーが定義した時間に基づいて動きます。
3. 録画中に  に触れると録画が停止し、メインメニューに入ることに注意してください。操作メニューを選択する前に、録画を停止できます。

## 2.6.3 UTC (Universal Time Code/ユニバーサルタイムコード) の設定

お住まいの地域によっては、GPS 信号の検出時に正しい日付と時刻が更新されるように、ビデオカメラの現在の UTC 設定を変更する必要があります。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。

2.  システムメインメニュー



で、/  に触れ、 を選択して時間帯の設定メニューに入り、/  に触れ、現在の時間帯を設定します。 再度触れて、設定を完了します。



City	UTC	City	UTC	City	UTC	City	UTC
Accra	0	Budapest *	+1	Houston *	-6	Melbourne	+10
Addis Ababa	+3	Buenos Aires	-3	Indianapolis *	-5	Mexico City *	-6
Adelaide **	+9	Cairo	+2	Islamabad	+5	Miami *	-5
Algiers	+1	Calgary *	-7	Istanbul *	+2	Minneapolis *	-6
Almaty	+6	Canberra	+10	Jakarta	+7	Minsk	+3
Amman *	+2	Cape Town	+2	Jerusalem *	+2	Montevideo	-3
Amsterdam *	+1	Caracas **	-4	Johannesburg	+2	Montreal *	-5
Anadyr	+12	Casablanca *	0	Kabul **	+4	Moscow	+4
Anchorage *	-9	Chicago *	-6	Karachi	+5	Mumbai **	+5
Ankara *	+2	Columbus *	-5	Kathmandu **	+5	Nairobi	+3
Antananarivo	+3	Copenhagen *	+1	Khartoum	+3	Nassau *	-5
Asuncion	-4	Dallas *	-6	Kingston	-5	New Delhi **	+5
Athens *	+2	Dar es Salaam	+3	Kinshasa	+1	New Orleans *	-6
Atlanta *	-5	Darwin **	+9	Kiritimati	+14	New York *	-5
Auckland	+12	Denver *	-7	Kolkata **	+5	Oslo *	+1
Baghdad	+3	Detroit *	-5	Kuala Lumpur	+8	Ottawa *	-5
Bangalore	+5	Dhaka	+6	Kuwait City	+3	Paris *	+1
Bangkok	+7	Doha	+3	Kyiv *	+2	Perth	+8
Barcelona *	+1	Dubai	+4	La Paz	-4	Philadelphia *	-5
Beijing	+8	Dublin *	0	Lagos	+1	Phoenix	-7
Beirut *	+2	Edmonton *	-7	Lahore	+5	Prague *	+1
Belgrade *	+1	Frankfurt *	+1	Las Vegas *	-8	Reykjavik	0
Berlin *	+1	Guatemala	-6	Lima	-5	Rio de Janeiro	-3
Bogota	-5	Halifax *	-4	Lisbon *	0	Riyadh	+3
Boston *	-5	Hanoi	+7	London *	0	Rome *	+1
Brasilia	-3	Harare	+2	Los Angeles *	-8	Salt Lake City *	-7
Brisbane	+10	Havana *	-5	Madrid *	+1	San Francisco *	-8
Brussels *	+1	Hong Kong	+8	Managua	-6	San Juan	-4
Bucharest *	+2	Honolulu	-10	Manila	+8	San Salvador	-6

\* UTC オフセットに +1 時間を追加し、DST(夏時間)に合わせて調整してください。

\*\* この地域では、DST 調整が +30 分になる場合があります。

## 2.7 アプリケーション

このカメラでは、アプリを通してモバイルデバイスに接続できます。初めて使用する時、お使いのモバイルデバイス用の **Pixi Cam** アプリをインストールします。

### 2.7.1 アプリケーションのインストール

1. Google Play か App Store で **Pixi Cam**  アプリケーションを探します。
2. アプリをインストールします。

アプリレイアウトと特徴は、異なるソフトウェアバージョンによって変わることがあります。更新については、Google Play または APP Store を参照してください。

### 2.7.2 Wi-Fi の接続

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、システムメニューに切り替えます。
3.  /  に触れて、 を選択し、**Wi-Fi** 機能メニューに入ります。画面に機器 ID と Wi-Fi パスワードが表示されるのを待ちます。



#### 注意:

Wi-Fi 機能は購入したモデルによって異なります。

機器 ID  
Wi-Fi パスワード



4. モバイルデバイスの Wi-Fi 機能を使用し、リストから機器 ID を探し、Wi-Fi パスワードを選択して入力します。

**iOS / Android ユーザーの場合:**

モバイルデバイス [設定] → [Wi-Fi] → [機器 ID 番号: f800XXXXXX の選択] → [パスワードの入力] → [接続] を使用します。

5. **Pixi Cam**  アプリを実行します。
6. Wi-Fi リンクを切断するには、**Pixi Cam**  アプリケーションを終了します。

**注意:**

1. 装置のWi-Fi機能がアクティブになっており、モバイルデバイスがWi-Fi信号を受信していることを確認してから、Pixi Cam アプリを実行します。さもないと、アプリは終了します。
2. モバイルデバイスは、間に建物を挟まずに装置から最大10mの距離の範囲内に設置する必要があります。
3. 装置のWi-Fi機能がモバイルデバイスに接続されない状態で3分間アクティブになっていたり、接続が切れたりすると、Wi-Fi機能は自動的に停止し、Wi-Fi 機能を再びアクティブにする必要があります。
4. 装置を使用する前に、録画されたビデオがモバイルデバイスの日付と時間設定と一致するように、モバイルデバイスの日付と時間を正しく設定する必要があります。
5. モバイルデバイスとリンクすると、機器の画面のタッチコントロールが無効になります。操作は Pixi Cam アプリケーション経由で実行します。機器を直接操作するには、最初に Pixi Cam アプリケーションを終了する必要があります。操作時、Pixi Cam プログラムを中断させ、再スタートしてください。
6. Pixi Camアプリの言語はモバイルデバイスの言語と一致しますが、その言語が内蔵されていない場合デフォルトの言語になります。

## 3 ドライブレコーダーの使用

### 3.1 ビデオ録画

#### 3.1.1 運転中のビデオ録画

自動車のエンジンが始動したときに**自動録画機能**が有効になると、本機の電源が自動的に入り、録画を開始します。

**自動録画**が開始してから 2 秒以上経過しないとタッチパネル機能は利用できません。

エンジンが停止するか、 に触れて、手動で録画を停止すると、録画が自動的に停止します。

#### 注意:

1. 車両によっては、エンジンが切れても録画が継続することがあります。その場合、手動でシガレットライターをオフにするか、シガレットライターからカーアダプターを取り外します。
2. 録画中、3分または5分おきにビデオファイルを保存するように設定できます。  
*ビデオ継続時間* (4.2) をご覧ください。
3. 本機はメモリカードに録画を保存します。メモリカードの容量が上限に達した場合、メモリカードにある最も古いファイルが上書きされます。

#### 3.1.2 緊急録画

録画設定を開始するには、以下のように操作します。

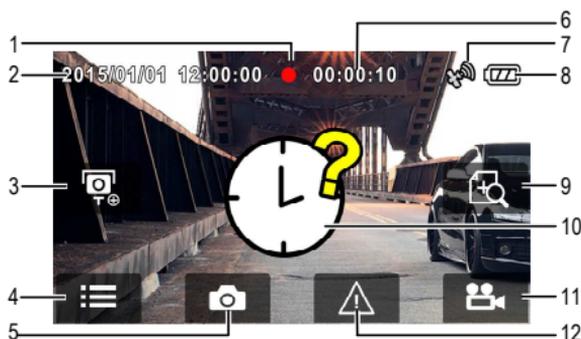
1. ビデオの録画中、 に触れると緊急録画モードに入ります。直後に画面の左下隅に「緊急」というメッセージが表示され、録画されたファイルは保護されます。



2.  にもう一度触れると録画が停止します。

**注意:**

1. **衝突検出**機能を有効化しているときに衝突が検出されると、緊急録画が自動的に始まります。**衝突検出** (4.2) をご覧ください。
2. 緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の定期録画により上書きされないように保護されます。8G(以上)のメモリカードで最大10個の緊急ビデオファイルを保存できます。緊急録画ファイルが一杯になると、「**緊急ファイルが一杯です**」という警告メッセージが画面に表示されます。新しい緊急録画ファイルが作成されると一番古い緊急ファイルが自動的に削除されます。

**3.1.3 録画面面**

番号	アイコン	項目	説明
1		録画 アイコン	録画状態を示します。
2	2015/01/01 12:00:00	日付 / 時刻	現在の録画日付と時刻を示します。
3		速度点追加	をタッチして、速度カムポイントを追加してください。
4		メニュー	に触れて、メインメニューに入ります。
5		スナップショットの撮影	録画中、 に触れて写真を撮ります。

6	00:00:10	録画時間長	現在のビデオの時間長を示します。
7		衛星位置付けアイコン	 アイコンは、衛星が車両の位置を特定できる状態になったときに画面に表示されます。
8		バッテリー	バッテリー電源の残量を表示します。
9		LCD 画面の 4 グリッド機能チャート	 に触れて、LCD 画面の 4 グリッド機能チャートに入ります。 <b>LCD 画面の 4 グリッド機能チャート (3.1.6) をご覧ください。</b>
10		日付 / 時刻の再設定プロンプト	本機の使用を始める前に、日付 / 時刻を再設定する必要があることを通知します。 <b>日付/時刻の設定 (2.6.2) をご覧ください。</b>
11		録画	 に触れて録画を開始し、もう一度  に触れて録画を停止します。
12		緊急録画	ビデオの録画中、  に触れて緊急録画モードに入ります。 <b>緊急録画 (3.1.2) をご覧ください。</b>

### 3.1.4 速度点追加

本製品では、速度カム位置をカスタマイズすることができます。

1.  を押して、録画中に新しい速度カム位置を追加します。
2. GPS ポジショニング後に、新しいカスタム速度カム位置を追加することができます。そそれは、最大 200 件です。
3. 本製品は、200 件の速度カム位置容量を装備しています。それ以上追加しようとする、システムは、「**速度位置が一杯です**」というメッセージと共にプロンプト表示します。

#### 注意:

カスタムスピードカム位置を【ファイル/位置】メニューで、【速度点削除】オプションを選択することで、削除することができます。既存のスピードカム位置すべてが、【速度点削除】オプションを一度選択すると削除されることに注意してください。このオプションを実行する前に、カスタムスピードカム位置を再作成する準備ができていることを確認してください。

### 3.1.5 スナップショットの撮影

本機を使用して、現在の光景のスナップショットを撮影することもできます。

1. 録画モード中に  を押し、スナップショットを撮影します。
2. スナップショットが撮影されるとき、この  アイコンが画面の中央に表示されます。



#### 注意:

録画中および車が動いている際、本製品により撮影される写真の定義は、対象物の速度と周囲光の変化に依存します。撮影機能は、事故の場面、または、車が信号待ちで停止している際の静止画の撮影により良く使用されます。

### 3.1.6 LCD 画面の 4 グリッド機能チャート

録画しているときに  に触れます。LCD 画面に 4 グリッド機能チャートが表示されます。

どこでもよいので画面に触れると録画画面に戻ります。



番号	項目
1	運転速度
2	時刻

番号	項目
3	運転方向
4	速度カムアラート

**注意:**

運転速度、運転方向、速度カムアラート、衛星が車両の位置を特定できる状態にある場合にのみ適用されます。特定できない場合、灰色の尺度で表示されます。衛星測位機能は購入したモデルによって異なります。

## 3.2 運転の安全

安全運転機能が参考値です。ドライバは、実際の道路状況に基づいて裁量を行ってください。

### 注意:

- 1.安全運転機能が、2警告を同時にトリガすることができません。音声および画面メッセージ警告されると、他のアラームが無視されます。
- 2.この製品は外部電源に接続されていない場合、速度カムアラートが無効になっています。運転用の外部電源に製品を接続してください、オンすると、速度カムアラート自動的に有効になります。

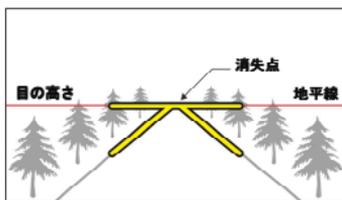
### 3.2.1 車線逸脱警告

車の位置が GPS により決定されると、**車線逸脱警報機能**が有効になり、本製品は、50 km/h (31 mile/h) を超える速度で運転または車線を変更する際、音声および画面メッセージ警告を生成します。車線逸脱警告を設定するには、次の手順に従います。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、**運転の安全**メインメニューに切り替えます。
3.  /  に触れ、 を選択して **車線逸脱警報** 機能メニューに入ります。 に再度触れ、機能を有効にします (オンにします)。



4.  に触れて、録画画面に戻ります。
5. 車線逸脱警告システムを起動させた後、スクリーンの中央に照準アイコン  が表示され、照準アイコンの水平線と路面のアイレベルと重なり、また斜線を走行車線の間中に置くように設備を調整してください。取り付ける時に照準アイコンが物体（例えば：エンジンカバー）に遮られないように確認してください。終点が遮られると誤審をもたらしかねない。



6. 車の位置が GPS により決定されると、本製品は、50 km/h (31 mile/h) を超える速度で運転または車線を変更する際、音声および画面メッセージ警告を生成します。



**注意:**

1. **車線逸脱警報**は、衛星により車両の位置を特定できる状態にあるときのみ適用できます。この機能を有効にする場合、衛星により車両の位置を特定できる状態にあることを確認してください。衛星測位機能は購入したモデルによって異なります。

- 2.本製品が外部電源と接続しない場合、車線逸脱警報、フロント衝突警告、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、加速/減速警報など安全運転機能が無効になります。
3. **車線逸脱警報** 機能は、雨や曇りの天候を含む劣悪な状況、夜間、または、劣悪な照明環境下において、誤警報を与える可能性があります。ドライバが、実際の道路状況に基づいて、判断することをお勧めします。

### 3.2.2 フロント衝突警告

車の位置が GPS により決定されると、**フロント衝突警告** 機能が有効になり、本製品は、60 km/h (37 mile/h) を超える速度で運転する際、および、前の車との距離が 20m 以下になった時、音声および画面メッセージ警告を生成します。

フロント衝突警告を設定するには、次の手順に従います。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。

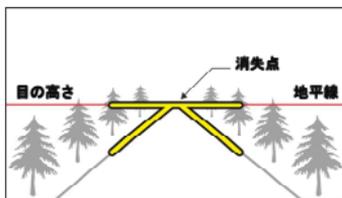
2.  に触れて、運転の安全メインメニューに切り替えます。

3.  /  に触れ、 を選択して **フロント衝突警告** 機能メニューに入ります。 に再度触れ、機能を有効にします (オンにします)。



4.  に触れて、録画画面に戻ります。

5. フロント衝突警告システムを起動させた後、スクリーンの中央に照準アイコン が表示され、照準アイコンの水平線と路面のアイレベルと重なり、また斜線を走行車線の間中に置くように設備を調整してください。取り付ける時に照準アイコンが物体（例えば：エンジンカバー）に遮られないように確認してください。終点が遮られると誤審をもたらしかねない。



6. 車の位置が GPS により決定されると、本製品は、60 km/h (37 mile/h) を超える速度で運転する際、および、前の車との距離が 20m 以下になった時、音声および画面メッセージ警告を生成します。



**注意:**

1. **車線逸脱警報**は、衛星により車両の位置を特定できる状態にあるときのみ適用できます。この機能を有効にする場合、衛星により車両の位置を特定できる状態にあることを確認してください。衛星測位機能は購入したモデルによって異なります。

- 2.本製品が外部電源と接続しない場合、車線逸脱警報、フロント衝突警告、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、加速/減速警報など安全運転機能が無効になります。
- 3.フロント衝突警告機能は、雨や曇りの天候を含む劣悪な状況、夜間、または、劣悪な照明環境下において、誤警報を与える可能性があります。ドライバが、実際の道路状況に基づいて、判断することをお勧めします。

### 3.2.3 前方車両発進警告

車の位置が GPS により決定されると、**前方車両発進警告**機能が有効になり、本製品は、車が 20 秒間静止した後、前の車の動きの検出を開始します。前の車の動きによりカメラ内の画像が変化した時、音声および画面メッセージ警告を生成します。

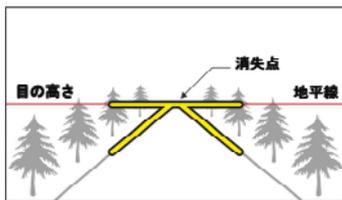
前方車両発進警告を設定するには、次の手順に従います。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、**運転の安全**メインメニューに切り替えます。
3.  /  に触れ、 を選択して **前方車両発進警告** 機能メニューに入ります。 に再度触れ、機能を有効にします(オンにします)。
4.  に触れて、録画画面に戻ります。



5. 前方車両発進警告システムを起動させた後、スクリーンの中央に照準アイコン  が表示され、照準アイコンの水平線と路面のアイレベルと重なり、また斜線を走行車線の間中に

置くように設備を調整してください。取り付ける時に照準アイコンが物体（例えば：エンジンカバー）に遮られないように確認してください。終点が遮られると誤審をもたらしかねない。



6. 車の位置が GPS により決定されると、本製品は、車が 20 秒間静止した後、前の車の動きの検出を開始します。前の車の動きによりカメラ内の画像が変化した時、音声および画面メッセージ警告を生成します。



#### 注意:

1. **前方車両発進警告**は、衛星により車両の位置を特定できる状態にあるときのみ適用できます。この機能を有効にする場合、衛星により車両の位置を特定できる状態にあることを確認してください。衛星測位機能は購入したモデルによって異なります。
2. 本製品が外部電源と接続しない場合、車線逸脱警報、フロント衝突警告、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、加速/減速警報など安全運転機能が無効になります。
3. **前方車両発進警告**機能は、雨や曇りの天候を含む劣悪な状況、夜間、または、劣悪な照明環境下において、誤警報を与える可能性があります。ドライバが、実際の道路状況に基づいて、判断することをお勧めします。
4. 本製品は、機能が有効化された場合、30 秒後に前方車両発進警告機能を再起動します。

### 3.2.4 ヘッドライト警告

ヘッドライト警告機能は、本製品の録画表示を通して、雨や曇りの天候、夜間、地階、駐車場およびトンネルにおける運転を含む劣悪な照明環境を検出した時、音声および画面メッセージ警告を生成します。

ヘッドライト警告を設定するには、次の手順に従います。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、**運転の安全** メインメニューに切り替えます。
3.  /  に触れ、 を選択して **ヘッドライト警告** 機能メニューに入ります。 に再度触れ、機能を有効にします (**オン** にします)。
4.  に触れて、録画画面に戻ります。
5. 本製品は、録画表示を通して、劣悪な照明環境を検出した時、音声および画面メッセージ警告を生成します。



#### 注意:

本製品が外部電源と接続しない場合、車線逸脱警報、フロント衝突警報、前方車両発進警報、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、加速/減速警報など安全運転機能が無効になります。

### 3.2.5 速度カムアラート

速度カムアラート機能は、デフォルトで有効になっています。車の位置が GPS により決定され、速度カムに接近すると、本製品は音声および画面メッセージ警告を生成します。

速度カムアラートを設定するには、次の手順に従います。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、**運転の安全**メインメニューに切り替えます。
3.  /  に触れ、 を選択して **速度カムアラート** 機能メニューに入ります。 に再度触れ、機能を有効にします (オンにします)。



4.  に触れて、録画画面に戻ります。
5. 車の位置が GPS により決定され、速度カムに接近すると、本製品は音声および画面メッセージ警告を生成します。速度制限を超える速度で運転している場合、警告画面は赤色に変わり、速度を落とすように警告します。



#### 注意:

1. **速度カムアラート**は、衛星により車両の位置を特定できる状態にあるときのみ適用できます。この機能を有効にする場合、衛星により車両の位置を特定できる状態にあることを確認してください。衛星測位機能は購入したモデルによって異なります。
2. 本製品が外部電源と接続しない場合、車線逸脱警報、フロント衝突警告、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、加速/減速警報など安全運転機能が無効になります。
3. 速度カムアラート機能に使用する国の速度カム基準を設定しなければなりません。本製品を他の国で使用する場合、この機能は無効になります。機能が無効になった場合は、購入店にご相談ください。本製品は、世界中の国に対する速度カム基準を含むことを保証するものではありません。

### 3.2.6 制限速度アラート

**制限速度アラート**機能が有効である場合、車の位置が GPS により決定され、その走行速度が設定した制限を超過した時、本製品は、音声メッセージ警告を生成します。

制限速度アラートを設定するには、次の手順に従います。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、**運転の安全**メインメニューに切り替えます。
3.  /  に触れ、 を選択して **制限速度アラート** 機能メニューに入ります。
4.  /  をタップし、制限速度アラートを設定して、本製品のアラーム (オフ/50 km/h ~ 200 km/h) を有効にします。



5.  に触れて、録画画面に戻ります。
6. 制限速度アラート機能が有効である場合、車の位置が GPS により決定され、その走行速度が設定した制限を超過した時、本製品は、音声メッセージ警告を生成します。

**注意:**

1. **制限速度アラート**は、衛星により車両の位置を特定できる状態にあるときのみ適用できます。この機能を有効にする場合、衛星により車両の位置を特定できる状態にあることを確認してください。衛星測位機能は購入したモデルによって異なります。
2. 本製品が外部電源と接続しない場合、車線逸脱警報、フロント衝突警告、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、加速/減速警報など安全運転機能が無効になります。

### 3.2.7 運転者疲労警報

運転者疲労警報機能が有効である場合、本製品は、録画開始 1 時間後、および、その後 30 分ごとに音声および画面メッセージ警告を生成します。

運転者疲労警報を設定するには、次のように操作します。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、**運転の安全**メインメニューに切り替えます。
3.  /  に触れ、 を選択して**運転者疲労警報**メニューに入ります。  
 に再度触れて有効にします (オンにします)。
4.  に触れて、録画画面に戻ります。



#### 注意:

本製品が外部電源と接続しない場合、LDWS、フロント衝突警告、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、加速/減速警報など安全運転機能が無効になります。

### 3.2.8 動体検知

動体検知が有効になっている場合、本機の電源を入れると、画面に「10秒待つて動作検出に入るか、画面に触れて電源を切ります」というメッセージが画面に表示されます。これは10秒後に動作検知に自動的に入ることを意味します。本機がレンズの正面で何らかの動きを検知すると、設定した時間だけ録画されます。面上の任意の位置を10秒間タッチすると、本製品は、動体検知モードに入るかわりに、電源がオフになります。

動体検知を設定するには、次のように操作します。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、**運転の安全**メニューに切り替えます。
3.  /  に触れ、 を選択して**動体検知**メニューに入ります。  
 に再度触れて有効にします(オンにします)。
4.  に触れて、録画画面に戻ります。
5. 電源コネクターがオフに切り替わると、メッセージ「10秒待つて動作検出に入るか、画面に触れて電源を切ります。」が表示されます。システムは、10秒後に自動的に動体検知モードに入り、本製品により、カムの前で移動する物体が検出された時、自動録画機能が有効になります。



6. 本製品が動体検知に入った後、画面は自動的に 60 秒後にオフになります。画面上の任意の位置をタップするとオンになり、再度タップすると、このモードを終了します。本製品をオンにした後、電源コネクターがオフに切り替わると、メッセージ「10秒待つて動作検出に入るか、画面に触れて電源を切ります。」が表示されます。指示通りに操作してください。

**注意:**

1. 電池が満充電後、動作検知モードでの連続録画時間は30分です。
2. 電池的電池の蓄電能力は使用していくにつれて徐々に減少し、これは電池の正常な現象です。

### 3.2.9 衝突検出

衝突検出機能の感度は、デフォルトで中に設定されます。本製品は、衝突によって生じた振動を検出すると緊急録画を開始します。緊急録画設定を変更するには:

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、**運転の安全**メインメニューに切り替えます。
3.  /  に触れ、 を選択して**動体検知**メニューに入ります。
4.  /  キーをタップして、本製品の衝突検出感度 (オフ/低感度/標準感度/高感度) を変更します。
5.  に触れて、録画面に戻ります。



#### 注意:

緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の定期録画により上書きされないように保護されます。8G(以上)のメモリカードで最大10個の緊急ビデオファイルを保存できます。緊急録画ファイルが一杯になると、「緊急ファイルが一杯です」という警告メッセージが画面に表示されます。新しい緊急録画ファイルが作成されると一番古い緊急ファイルが自動的に削除されます。

### 3.2.10 加速/減速警報

本製品は、**加速/減速警報機能**が有効で、GPS により位置が決定された後、車が 80 km/h (50 mile/h) 超で走行中に 1 秒以内に 20 km/h (12.4 mile/h) 加速した場合、または、50 km/h (31 mile/h) 未満で走行中に 1 秒間に 30 km/h (18.6 mile/h) 減速した場合、音声および画面メッセージ警告を生成します。

加速/減速警報を設定するには、次のように操作します。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れて、**運転の安全**メインメニューに切り替えます。
3.  /  に触れ、 を選択して**加速/減速警報**メニューに入ります。 に再度触れて有効にします (オンにします)。



4.  に触れて、録画面面に戻ります。

5. 本製品は、車の位置が GPS により決定され、車が突然加速または原則した場合、音声および画面メッセージ警告を生成します。



**注意:**

1. **加速/減速警報**は、衛星により車両の位置を特定できる状態にあるときのみ適用できます。この機能を有効にする場合、衛星により車両の位置を特定できる状態にあることを確認してください。衛星測位機能は購入したモデルによって異なります。
2. 本製品が外部電源と接続しない場合、車線逸脱警報、フロント衝突警告、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、加速/減速警報など安全運転機能が無効になります。

## 3.3 ビデオの再生と画像の表示

### 3.3.1 ビデオと緊急録画の再生

ビデオ録画ファイルは次のように再生します。

1.  に触れて、メインメニューに入ります。
2.  に触れ、ファイル / 位置メニューに切り替えます。
3.  に触れ、ビデオ / 緊急録画 機能メニューに入ります。



4.  /  に触れてビデオファイルを開覧します。再生するビデオが決まったら、そのプレビューに触れると再生モードに入ります。

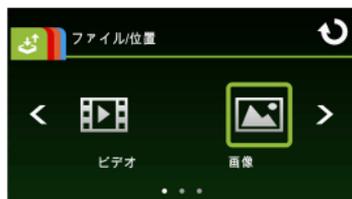


5.  に繰り返し触れると録画面に戻ります。

### 3.3.2 画像の表示

次のように画像を表示します。

1.  に触れ、メインメニューに入ります。
2.  に触れ、**ファイル / 位置**メインメニューに切り替えます。
3.  に触れ、**画像機能メニュー**に入ります。



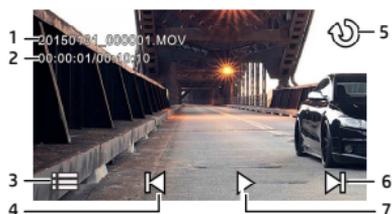
4.  /  に触れて画像ファイルを閲覧します。表示する画像が決まったら、そのプレビューに触れると画像再生モードに入ります。



5.  に繰り返し触れると録画画面に戻ります。

### 3.3.3 再生画面

ビデオ再生画面



フォト再生画面



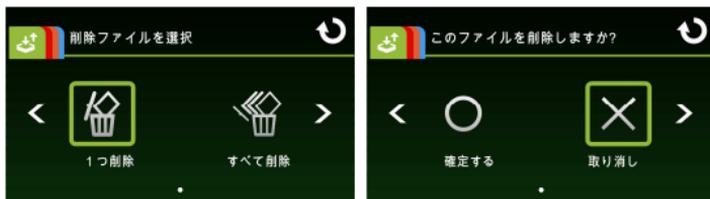
番号	アイコン	項目	説明
1		ファイル名	現在のビデオまたは画像ファイルの名前を示します。
2		現在の時間長/ビデオ時間長	現在のビデオファイルのタイムコードと時間長を示します。
3		メニュー	に触れ、ファイル削除メニューに入ります。
4		巻き戻し / 前のファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオまたは画像が再生されていない状態で  に触れると前のファイルに切り替わります。</li> <li>ビデオ再生モードで  に触れると、逆再生が始まります。</li> </ul>
5		戻る	に触れると、ビデオまたは画像の前の画面に戻ります。  に繰り返し触れると録画画面に戻ります。

番号	アイコン	項目	説明
6		早送り / 次のファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオまたは画像が再生されていない状態で  に触れると次のファイルに切り替わります。</li> <li>ビデオ再生モードで  に触れると、ビデオが早送りされます。</li> </ul>
7		再生/一時停止	 に触れるとビデオが再生されるか、一時停止されます。

### 3.3.4 ファイルの削除

ファイルを削除するには、次の手順に従ってください。

1.  に触れ、メインメニューに入ります。
2.  に触れ、ファイル / 位置メインメニューに切り替えます。
3.  に触れ、ビデオ/画像/緊急録画メニューに入ります。
4.  に触れてビデオまたは画像ファイルを開覧します。プレビュー画像に触れるとビデオ/画像再生モードに入ります。
5.  に触れて削除ファイルを選択メニューに入り、 /  を選択してファイルを 1 つまたは全部選択します。 /  に触れて選択を確定するか、取り消します。



項目	説明
1 つ削除	現在のファイルを削除します。
すべて削除	すべてのファイルを削除します。

6.  に繰り返し触れると録画画面に戻ります。

#### 注意:

削除されたファイルは復元できません。削除の前に必ずファイルをバックアップしてください。

## 4 設定の調整

### 4.1 メニューの使用

画面のディスプレイ (OSD) メニューから、一般設定をカスタマイズできます。



1. 録画モードの  に触れ、録画を停止し、メインメニューに入ります。

2.  /  /  /  に触れ、メインメニューに切り替えます。

3.  /  に触れ、それぞれのメインメニューの機能項目を閲覧します。機能アイコンに触れ、設定画面に入ります。

4. 機能項目の設定が完了すると、本機は自動的に選択した機能のメインメニューに戻ります。

5.  に触れ、録画面面に戻ります。

## 4.2 メニュー項目

メインメニューと機能一覧についての詳細は下の表をご覧ください。

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
 システム	 日付 / 時刻	日付と時刻を設定します。	
	 時間帯の設定	お住まいの地域の時間帯を設定します。	UTC -12:00 ~ UTC +12:00
	 衛星同期化	有効になっていると、衛星が車両の位置を特定したとき、本機の時計は設定されている時間帯の衛星時計に基づいて自動的に調整されます。	オン / オフ
	 ビープ音	ビープ音を有効/無効にします。	オフ / 低 / 中 / 高
	 言語設定	画面のディスプレイメニュー言語を設定します。	実際の出荷領域によると
	 距離単位	距離の単位を選択します。	キロ / マイル

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
	 LCD 設定	LCD オフタイムを設定します。待機または録画モード中に操作が検出されない場合、設定した時間が過ぎると本機の画面がオフになります。どこでもよいので画面に触れると再びオンになります。(画面がオフでは録画には影響がありません。)	オン / 30 秒後に電源オフ / 3 分後にオフ
	 Wi-Fi	モバイルデバイスの Wi-Fi リンクを設定します。	
	 衛星システム	場所の衛星システムを選択します。	GPS / GLONASS
	 レコーダーフォーマット	装置に挿入されたメモリカードをフォーマットします。カードのファイルはすべて消去されます。	はい / いいえ
	 デフォルト	装置を初期設定に戻します。	はい / いいえ
	 ファームウェア	現在のファームウェアを示します。	

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
 ファイル / 位置	 ビデオ	ビデオファイルを再生/削除します。	
	 画像	画像ファイルを再生/削除します。	
	 緊急録画	緊急録画ファイルを再生/削除します。	
	 速度点追加	衛星が車両の位置を特定した後に速度点を手動で追加します。最大 200 の速度点を定義し、追加できます。	
	 速度点削除	定義したすべての速度点をシステムから削除します。	
 運転の安全	 車線逸脱警報	車の位置が GPS により決定されると、車線逸脱警報機能が有効になり、本製品は、50 km/h (31 mile/h) を超える速度で運転または車線を変更する際、音声および画面メッセージ警告を生成します。	オン / オフ

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
	 フロント衝突警告	<p>衛星が車両の位置を特定した後、FCWS が有効になっているとき、車両の速度が 60 km/h (37 mile/h) を超え、前の車両との距離が 20m 以内に入ると、本機は音声で警告するか、画面に警告を表示します。</p>	オン / オフ
	 前方車両発進警告	<p>車の位置が GPS により決定されると、前方車両発進警告機能が有効になり、本製品は、車が 20 秒間静止した後、前の車の動きの検出を開始します。前の車の動きによりカメラ内の画像が変化した時、音声および画面メッセージ警告を生成します。</p>	オン / オフ
	 ヘッドライト警告	<p>ヘッドライトが作動しているとき、音声か画面で警告を発生し、十分な明るさが録画面で検知されていないことを知らせます。</p>	オン / オフ

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
	 速度カムアラート	速度カムアラートが有効である場合、車の位置が GPS により決定され、速度カムに接近すると、本製品は音声および画面メッセージ警告を生成します。	オン / オフ
	 制限速度アラート	制限速度アラート機能が有効である場合、車の位置が GPS により決定され、その走行速度が設定した制限を超過した時、本製品は、音声メッセージ警告を生成します。	オフ / 50 km/h ~ 200 km/h
	 運転者疲労警報	運転者疲労警報機能が有効である場合、本製品は、録画開始 1 時間後、および、その後 30 分ごとに音声および画面メッセージ警告を生成します。	オン / オフ
	 動体検知	動体検知が有効になっている場合、前方で物体の移動が検知されたとき、自動的に録画を開始します。電池が満充電	オン / オフ

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
		後、動作検知モードでの連続録画時間は30分です。	
	 衝突検出	衝突検出が有効である場合、本製品は、衝突によって生じた振動を検出すると緊急録画を開始します。	オフ / 低感度 / 標準感度 / 高感度
	 加速/ 減速警報	本製品は、加速/減速警報機能が有効で、GPSにより位置が決定された後、車が 80 km/h (50 mile/h) 超で走行中に 1 秒以内に 20 km/h (12.4 mile/h) 加速した場合、または、50 km/h (31 mile/h) 未満で走行中に 1 秒間に 30 km/h (18.6 mile/h) 減速した場合、音声および画面メッセージ警告を生成します。	オン / オフ
 録画	 解像度	ビデオ解像度の設定。	FHD (1080P/30fps) / HD30 (720P/30fps) / HD60 (720P/60fps)
	 EV	露出補正を設定します。	+2.0 ~ -2.0

メインメニュー	機能一覧	説明	使用可能なオプション
	 自動録画	本機の電源を入れた後に自動録画を有効にする設定。	オン / オフ
	 ビデオ継続時間	選択した時間長で個々のビデオファイルを保存します。	3分 / 5分
	 音声録音	ビデオのオーディオを有効にする設定。	オン / オフ
	 時間表示	記録した画像またはビデオの日付印と時刻印を示す設定。	オン / オフ
	 WDR	WDR 機能は、劣悪な外部照明環境下において、薄暗い領域を補正かつ最適化します。	オン / オフ

**注意:**

本製品が外部電源と接続しない場合、LDWS、フロント衝突警告、前方車両発進警告、ヘッドライト警告、速度カムアラート、制限速度アラート、運転者疲労警報、加速/減速警報など安全運転機能が無効になります。

## 5 ソフトウェアのインストール

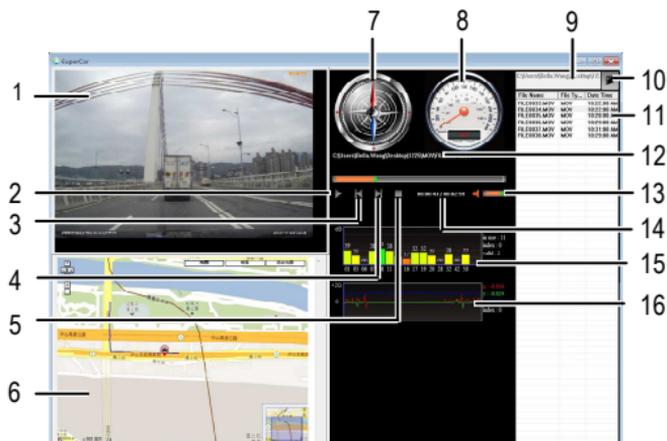
1. 付属の CDROM を CD プレーヤーに挿入します。
2. CD が自動的に実行しない場合は、Windows ファイルマネージャーを用いて CD 内の **Install\_CD.exe** ファイルを実行します。

次の画面が表示されます。



3. [メニュー] 項目を押し、画面の指示に従ってインストール処理を開始してください。

## 6 スーパーカー



番号	項目
1	ビデオプレーヤー
2	再生/一時停止
3	戻る
4	次へ
5	停止
6	E- Map
7	方位
8	速度計

番号	項目
9	ファイルパス
10	ブラウザーファイル
11	ファイルリスト
12	ファイル名
13	音量
14	現在の時間長/合計時間長
15	信号雑音比 (SNR)
16	G センサー

### 注意:

1. E- Mapに経路を表示するには、ビデオの再生を 始める前にインターネットに接続します。
2. ビデオファイル(MOV/TS)とGPS/Gセンサーファイル(NMEA)は再生を始める前に同じフォルダーに保存する必要があります。
3. SuperCarソフトウェアはWindowsオペレーティングシステムにのみ適用されません。

## 7 仕様

項目	説明
イメージセンサー	1/2.7 インチ CMOS センサー
有効ピクセル数	1920 (H) x 1080 (V)
ストレージメディア	Micro SDHC Class 6 をサポート、最大 32GB
LCD ディスプレイ	2.7" LCD カラー TFT タッチスクリーン
レンズ	広角固定フォーカスレンズ 絞り: Up to F1.9、f=3.8mm
フォーカス範囲	1.5m ~ 無限大
衛星システム	GPS / GLONASS (衛星による車両の位置特定機能はモデルにより異なります)
Wi-Fi	802.11 b/g/n (無線ネットワーク機能はモデルにより異なります)
ムービークリップ	解像度: FHD (1080P/30fps)、HD30 (720P/30fps)、HD60 (720P/60fps)
	形式: MOV
静止画像 (スナップショット)	解像度: 2M (1920 x 1080)
	形式: JPEG
シャッター	電子シャッター 自動: 1/2 ~ 1/2000 秒
Gセンサー	3軸 Gフォーカス センサー

項目	説明
ISO	自動
ホワイトバランス	自動
マイクロフォン	はい
スピーカー	はい
インターフェイス	Mini USB
バッテリー	内蔵 470mAh 充電可能リチウムポリマー
動作温度	0° ~ 50°C
動作湿度	20 ~ 70% RH
保管温度	-20° ~ 80°C
寸法	80 x 30.3 x 51.2 mm
重量	約 82g (メモリカードなし)

内蔵 IEEE 802.11n Wi-Fi モジュール : WN7911B-WM

周波数範囲	2412 ~ 2462MHz
チャンネルリスト	Ch1 ~ Ch11

工事設計認証取得の特定無線設備内蔵

CONTAINS APPROVED RADIO MODULE /



R 201-140251  
T D 14-0080 201